

## 国内・海外

○印：国内関係 ☆印：海外関係

### 5日(金) ☆ 米雇用回復、21万人増

米労働省が発表した4月の雇用統計（速報、季節調整値）は景気動向を敏感に映す非農業部門の就業者数が前月比21万1千人増と、3月（7万9千人増）を大幅に上回り雇用回復を示した。

### 11日(木) ○ 経常黒字高水準

財務省が発表した2016年度の国際収支速報によると、経常収支は前年度比13.1%増の20兆1,990億円の黒字となり、07年度以来9年振りに20兆円台を回復した。

### 18日(木) ○ GDP年率換算2.2%増

内閣府が発表した17年1～3月期の国内総生産（GDP、季節調整値）速報値は、物価変動の影響を除いた実質で前期比0.5%増（年率換算で2.2%増）と5四半期連続でプラスとなった。

### 19日(金) ○ 4月の訪日客、月間最多更新

観光庁が発表した4月の訪日外国人客数（推計値）は、前年同月比23.9%増の257万8,900人と月間での過去最多を更新した。

### 30日(火) ○ 4月の有効求人倍率1.48倍、バブル期超え

厚生労働省が発表した4月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月比0.03ポイント上昇の1.48倍だった。バブル期の1990年7月に記録した1.46倍を超える高水準を記録した。

## 県内・九州

★印：県内関係 ●印：九州関係

### 4日(木) ★ 県内の子どもの数、2,600人減

長崎県がまとめた14歳以下の人口推計（4月1日時点）は、前年比約2,600人減少し17万3千人だった。県総人口（135万6千人）に占める割合は12.9%と人数、割合とも過去最低を更新。

### 9日(火) ★ 県内GW客25%増の59万人

長崎県が発表した今年の大連休（4月29日～5月5日）に県内主要観光施設30カ所を訪れた観光客数は、約59万3千人と昨年より25.1%増え、客足はほぼ回復した。

### 11日(木) ● 九州・沖縄の百貨店・スーパー販売額、2年振り減

九州経済産業局が発表した16年度の九州・沖縄の百貨店・スーパー販売額は、全店ベースで前年度比1.1%減の1兆5,197億円となり、2年振りに減少した。

### 17日(水) ● 九州鉱工業生産4年連続で上昇

九州経済産業局が発表した16年度の九州の鉱工業生産指数（2010年=100）は、前年度を4.3%上回る105.7となり4年連続で上昇した。

### 22日(月) ★ 長崎市の観光客数過去最多

長崎市が発表した16年の観光客数は、前年より3万人（0.4%）多い672万人となり3年連続で過去最多を更新。観光消費額は前年を55億円（4%）下回る1,313億円となり5年振りに減少。